

県内大規模商業施設との意見交換会 議事要旨

1 日 時

令和4年2月7日（月）10:00～10:45

2 出席者

県内大規模商業施設 責任者：9名（8施設）

〔岐阜高島屋、マーサ21、カラフルタウン岐阜、イオンモール各務原、モレラ岐阜、イオンモール大垣、マーゴ、土岐プレミアム・アウトレット〕

3 各施設の取組状況・要望等

【入場管理】

- ・ 感染者の急増に伴い、館内の滞留率は50%未満の状況が続き、入場制限に至らない状況となっている（年末は人出が多かったが、年明け以降は人出を気にするほどお客様が来ない）。
- ・ 「6平方メートルに1人」「施設の換気能力」に基づき人的な滞留をチェックし、混雑状況を見える化して、スマートフォンアプリ等で公開。
- ・ 催し物等を開催する際には、混雑した状況を避けるため、過去の催し物での混雑状況を参考にし「通路幅・出店者数」等を基に設定。
- ・ 館内が混雑する場合には、入場口をエスカレーターのみとするなど、フロア全体で入場者をコントロール。

【事業継続】

- ・ 従業員が感染又は濃厚接触者となり欠勤者が相次ぐ事態となっている。それに伴い、マンパワーが足りず、営業を継続することが困難となる事例があることから、テナントからは、むしろ「休業・時短」要請をしてほしいという声も一部で上がっている。
- ・ 第6波では、独自の防疫プロトコルにおける濃厚接触者の定義を、より厳しい基準に変更（該当する場合は自宅待機）。
第5波：マスク有+2m以内での15分以上の会話
第6波：マスク有+1m以内での15分以上の会話

【要望】

- ・ テナントの従業員が感染又は濃厚接触者となった際に、マンパワーが足りず、自主的に「休業・時短」する事例が多々あるため、そういった店舗に対する支援を検討いただきたい。
→国の「事業復活支援金」、県の「岐阜県オミクロン株対策特別支援金」を紹介。
- ・ 市町村から借り受けている土地の借地料の減額対応等について支援いただけるよう、県から市町村に対し働きかけを行っていただきたい。